



『甦る』

社友会 広島支部長 山田 順

シャープ社友会
広島支部会報
ひびき 第16号

発行人 山田 順

主要記事

1面	春夏秋冬 甦る
2面	秋の親睦旅行ガイダンス
3面	投稿 四国霊場遍路の旅結願
4面	投稿 HOW DO YOU DO
5面	投稿 還暦から古稀へのあゆみ
6面	投稿 通信事始物語 番外編
7面	投稿 社友短信・新会員紹介
8面	

女人高野で有名な奈良県室生村室生寺の小ぶ
りな国宝の五重塔が、台風禍から一年九ヶ月で
修復され、新築のようになりました。

半壊状態だった塔の四、五層は解体し、三層
以下はジャッキで持ち上げて部材を修復したり
取り替える修理法がとられました。

古木は極力、建立当時のものを使用し、屋根
の桧皮葺も境内の檜の皮を使ったそうです。

高さ十七米ほどの、可憐なこの塔のどこにフ
アンは心惹かれるのでしょうか。修復前の苔むし
た屋根や、色褪せた柱と壁の優しく古寺らしい
雰囲気、四季折々に変化する姿や形、有名な写
真家の作品などの影響もあるでしょう。

私も、この塔に魅せられた一人です。
新築のような極彩色の塔と、平安時代の金堂
(国宝)などが並ぶ境内で今は違和感もありま
すが、やがて修復前のさびれた五重塔になる事
でしょう。

千二百年前の塔は見事に蘇ったのです。

望の月室生の塔の華げる

若い頃から多少俳句に興味を持っていました
が、定年後は努めて精を出し社友会「風」俳句
会や、地元の俳句会で勉強してきました。

ところが九月はじめ、突然先生が亡くなりま
した。八十二才でしたが日ごろは元気に、バイ
クで走っておられました。

学者肌で郷土史研究者としても有名で、古武
士のような風格を持ち年は取っても、また耳は
遠くなってもなかなか自説を曲げず、頑固な先
生でした。

年を取ると、益々頑固になる人と性情円満に
なる人がいますが、頑固に自分の行き方にこだ
わるのも、いいと思います。

室生の塔は、現代最新の技術で鮮やかに甦り
ましたが、人は甦ることはできません。しかし
後々まで語り継がれる人生の年輪、歴史があり
ます。

人間、老いてなお、夢を見て、人生という川
の流れに逆らってさざ波をたてていく、こんな
行き方もいいのではないのでしょうか。

会社宛て配達された郵便物の取り扱いについて

在職時の職名を付して、会社宛てに配達されたダイレクトメールを含む郵便物は社友会から、回付袋又は自宅宛ての郵便でお手許にとどけています。

なかには、不必要と推定されるものもあり、11月1日より次の通り運用を変更いたします。

1. 今後も継続して必要な場合は発送元に対し発送先の変更手続きを10月末までにお願ひします。
2. 新入会の皆さんは、入会后1ヶ月以内に同様の手続きをおねがいします。
3. 11月より、原則として破棄処分とします。

秋の親睦旅行

参加者受付中

受付締切10月15日

■異国情緒漂う“平戸”へ

□プロが選ぶ日本の宿100選の名旅館
平戸温泉 旗松亭 に泊まる

■ひらめ&平戸牛の豪華玄海荒磯料理でグルメ

□その他のお奨め

- ・鏡山から、日本三大松原の“虹の松原”
- ・有田焼、伊万里焼の窯元&お土産に

詳しくは次のページをご覧ください

秋の親睦旅行

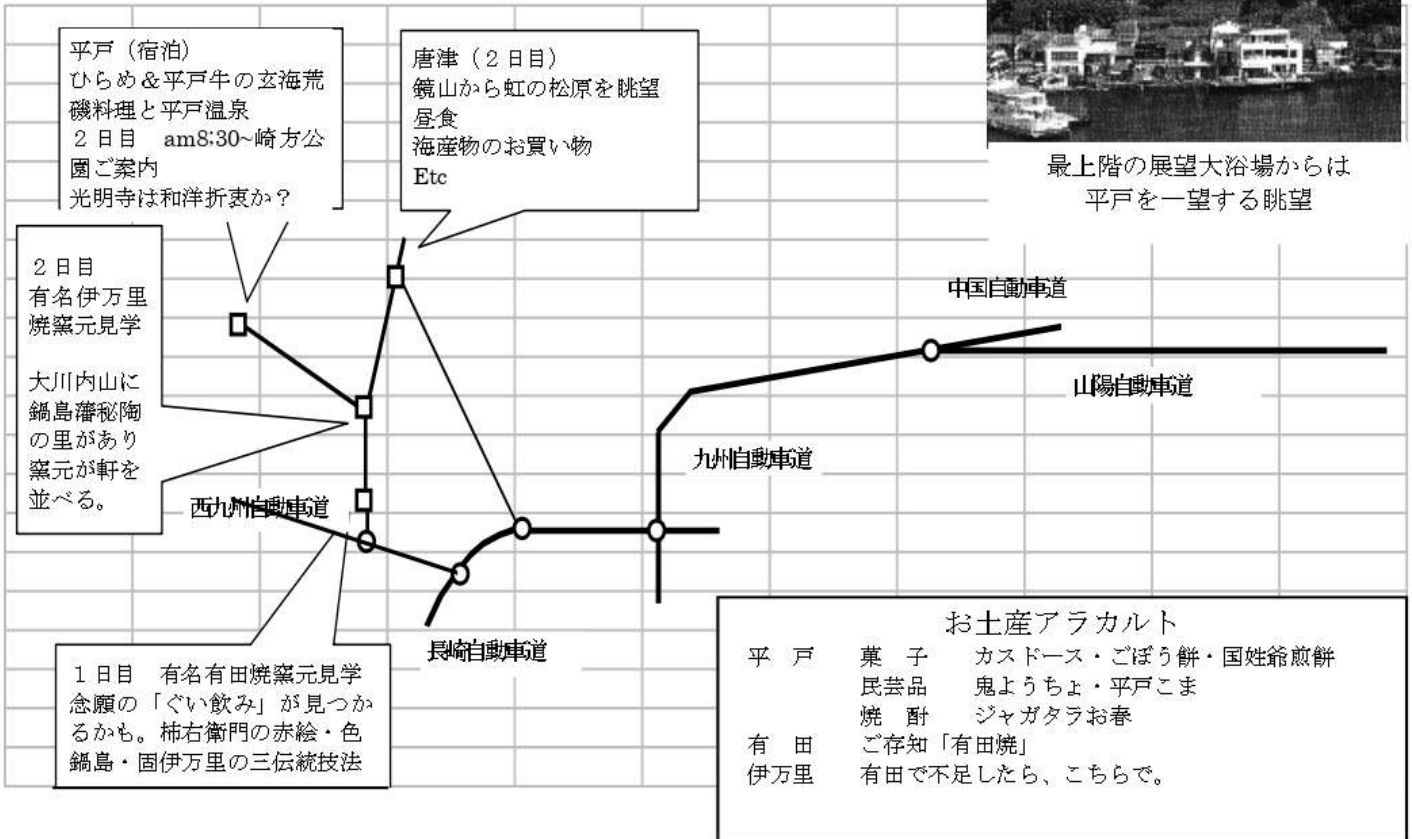
ガイドンス

プロが選んだ日本の旅館100選
名旅館 旗松亭で

温泉&グルメ



最上階の展望大浴場からは
平戸を一望する眺望



行程とスケジュール

1日目 集合 (第3工場) am07:20

出発 (07:30) ⇒ 志和 I C ⇒ 山陽自動車道 ⇒ 下松 S A (休憩) ⇒ 壇ノ浦 S A (休憩) ⇒ 九州自動車道
⇒ 古賀 (昼食・休憩) ⇒ 長崎自動車道 ⇒ 武雄北方 I C ⇒ 有田 ⇒ 平戸・旗松亭 (着pm16:40予定)

2日目

朝食 (07:30~) ・崎方公園散策 (ガイドさん案内 08:20~) ・旅館発09:00⇒伊万里⇒唐津 (昼食
海産物買い物) ⇒ 鏡山⇒多久 I C ⇒ 長崎自動車道⇒九州自動車道⇒古賀 S A (休憩) ⇒ 中国自動車道
⇒ 下松 S A (休憩) ⇒ 志和 I C ⇒ 第3工場 (20:00予定) 着

(注) 高速道路での休憩は、必要に応じて S A ・ P A で行います。早めにアピールしてください。
ただし、一般道ではドライブインなど条件に制約があるため、さらに早めにお知らせ下さい。

四国八十八ヶ寺

お遍路の旅 結願

嵐 定明さん No.438

四国八十八ヶ寺霊場は、弘仁六年(815年)、弘法大師が四十二才のときに曼荼羅道場(心身救済の霊場)を、人々が持つ八十八の煩惱を消滅せんがため、四国の地に八十八の霊場(お寺)を開かれたものです。

白い木綿の衣に手甲。鈴の音を鳴らしながら、哀調秘めるご詠唱をささげて四国路をたどる遍路の姿は、今も変わらぬ四国の風物詩であります。



四国遍路とは、八十八ヶ所のお寺をどんな苦しみにも耐え、長い日数をかけて巡拝する旅(全行程一四〇〇km)でこの寺をめぐる人達は、「おへんろさん」の名で昔から人々に親しまれてきました。

四国霊場をお大師様に導かれて巡拝する旅を、昨年の三月から今年の六月にかけて、四季を肌を感じながら行ってきました。慌ただしい日常を離れて、自分自身を見つめなおす遍路の旅です。全二十回シリーズに参加し、身も心も清めら

れるような遍路を夫婦で体験しました。

第一番霊山寺から第八十八番大窪寺まで巡拝。具体的には、本堂と大師堂に蝋燭と線香を供え、般若心経を唱え、納経帳にお寺の朱印を押していただき一ヶ寺の巡拝が終了します。

八十八ヶ寺を巡拝後、高野山奥の院へのお礼参りで全行程終了となります。

各旅行社では、ご夫婦は勿論単独でも、またご年配やご婦人でも安心してお詣りができるようバスツアーがあります。

八十八ヶ寺の霊場を巡拝し、お大師様のご加護をうけられますと、大変幸せと存じおすすめ致します。

八十八ヶ寺巡拝は、三回行えとの話も聞きました。一回目は先祖の供養、二回目は自分自身のため、三回目は子孫のため、とのこと。

私自身も、是非二回目三回目の巡拝に、チャレンジしてみたいと思っております。

写真は高野山奥の院へのお礼参りでの嵐夫妻

生活習慣病を防ぐ

我々は、永い間それぞれ精一杯に頭脳と身体を動かして、担当していた業務を通じ社会に役立つよう、努力してきました。それがある日、一定の年齢に達し誰にも拘束されない、自分の自由に出る時間を持つようになると、何もすることのない退屈な身体になってしまう事例が多いようです。

積極的に、身体を動かす目標がなくなり、何とかしなければとおもいつつ、結果はなにもしない、そんなパターンには表題の『生活習慣病』が待っています。無為に過ごしても、食生活は続きますから、時間の束縛がないがゆえに、それまでよりなお、食事が増えることになりかねません。

栄養過多・運動不足

肥満・血管がつまる

← 高血圧・心臓病・脳卒中

のような悪循環に陥ります。予防のためには、積極的に身体を動かすスポーツを継続して行うことであり

過剰なカロリーが消費され肥満が解消する

血液循環がよくなり、筋肉発達が期待される

← 食事を減らすことなく、脂肪を減らし体重コントロールが可能

← 心臓の強化・体力作りになる

自分一人では挫折しやすいライフスタイルであっても、多くの仲間と一緒に同じ目的を持って、長く続けることで心身への効果が、期待できるのです。

(濱川康さんの、「ウォーキングの薦め」より抜粋)

釣

8月 『アジ』でリベンジだあ！

とはいかなかつたが、まずまずの釣果

今日の目標は『あじ』。前回、と早く来なきや」と出鼻をくじか前々回とメバルに見放されたこと。海水浴の客の渋滞で、島をから、対象を変えてのリベンジだ。出ただけで日が暮れるぞ。当然ながら、大漁を期待した。

午前六時前、いつもの倉橋町重勝さんを加え計六名の一行は、ま生港を出港。船頭は、我々が到着。だ明けやらぬ釣り場へむかった。する前から出港準備を終えており。今日は、中潮で満潮は午後一時「あんたら、釣るつもりならもっ 仕掛けは船頭さんの準備で、鍾は



釣りの楽しみは、何と云っても船上で炊いた食事に尽きる。漁場に着くまでの期待感と、引き上げるお魚とのやり取りが楽しい。

70号、擬餌針13本の手釣り。ポイントを移動しながら、手応えを楽しんだが、たまにはお祭りも起きるし、長く続けて擬餌針を躍らせるには少々肉体的な苦痛を伴うし、交代しながらの五時間だった。

釣果は、約30cmの『まるあじ』90匹で、船頭さんからのお土産を加え、一人あたり30匹がクーラーに収まった。警沢をいえば、まるあじは少々身の締りが甘い。平あじだったらなあと、口には出さず帰途についてた。

(新田)

ウォーキング

7、9月例会

運動神経・俊敏性 強化に卓球も

7月の定例会は、天候に恵まれなかった月で、国立病院賀茂療養所から、竜王山への山道コース(6km)一回だけしかひらけませんでした。

8月は、加齢で徐々に低下する運動神経の、俊敏性と注意力の集中度を少しでも実体験し、日ごろ

の生活の糧とする試みを行いました。

我々は「あるこう会」ではあります。卓球を二時間ほどシャワー体育館で汗をながしました。

初めての方もあり、開始当初は玉が見えない(動体視力の低下?)とかで、空振りの方もありました。30分もする頃にはラリーも続くようになりました。猛暑が続くなか、2回目の定例会は会社の連休と重なり会員の要望もあって、休止としました。

9月度の、最初の定例会は予定通り、竹林寺付近を3kmを歩きま

した。

9月度2回目は、東広島市教育委員会推奨の原小学校区コースにプラスαした変形コースで約10kmでした。市内に数ある滝のひとつの「武士の滝」を廻るコースになりました。

当日は、台風14号が朝鮮半島に近づき太平洋には、台風17号が待機する不安定な気象でしたが参加者全員が、予定コースを踏破しました。

時には、山道コースを選択するのは、木々のある山の道にあって健康に有益な、マイナス・イオンやフィトンチットを吸引しようとするものです。

ウォーキングにプラスする自然の活力を吸収し、血流を促進させ疲れを溜めこませないコースの選

パソコン

パソコン同好会は毎月1回、中旬の水曜日に社友会事務所で開催。

定を行い、息の長い『あるこう会』でありたいと思っております。(濱川)

例会	テーマ	開催予定日
7月例会	カット&ペースト・コピー&ペースト	
8月例会	EXCEL 関数入門(1)	
9月例会	EXCEL 関数入門(2)	
10月例会	予定テーマ 名刺を作る	10月18日(水)
11月例会	予定テーマ 年賀状を作る	11月中旬の水曜
12月例会	未定	未定

同好会のご案内

例会や大会への参加は随時リーダーにご連絡ください。お試し参加・スポット参加いづれも大歓迎です。

同好会名	リーダー	例会日など	会費など
囲碁・将棋	木船 久	リーダー及び浅島氏の日直当番日	なし
ウォーキング	濱川 康	毎月第1・第3土曜日	参加実費
ボーリング	吉岡 秀卓	毎月例会(下旬の日曜日)・年4回の大会	参加実費
釣り	新田 保	年5回の船釣り(4.5.7.9.11月を予定)	参加実費
パソコン	車角 裕規	毎月例会(中旬の水曜日・都度決定)	なし
ゴルフ	嵐 定明	1~2月を除く毎月近郊コースで例会	年会費・参加実費

ゴルフ

7～9月の戦跡

ハイレベルの戦い続く

今回は、夏の陣と十月恒例となったツアーコンペを加えて紹介します。
7月例会は、山県郡豊平町の中
国GCで開催。山岳コースでアッ

プダウンも多い6608yながら
9アンダーをトップにパープレイ
まで8名を数え、全体のレベルが
高くなった。
8月は、東広島CCのセニア&
レディース大会に参加。ゴルフド
ウインドゲームを実施。ペースコン
との意見もあつたが、主催コース
の入賞者も出た。
9月は、おなじみの賀茂CC。
さて、十月はツアーコンペを計
それだけに、アンダーパーでな
れば優勝できない今年度の傾向も
維持された。



#32 7月例会の入賞者



#33 8月例会の入賞者



#34 9月例会の入賞者

第35回コンペ(10月度例会)

とき 10月12日～13日
ところ 作州武蔵CC
コース 27ホール
参加者 14名(予定)
競技 36ホールストロークプレイ
(出口)

ボーリング

第十二回大会

社友会の『土屋さん』初参加で優勝

第十二回ボーリング大会は過去
最多の二〇名(会員十一名・会員
夫人四名・一般五名)を得て九月
二十四日に開催。

今回は、初参加者が六名を数え
優勝の行方は混沌として予測困難
でした。第一ゲームが終わった時
点で、トップから三位までの差が
僅か六ピンと、デッドヒートの展
開でした。
第二ゲーム終了後の総合得点は
土屋さんが二ピン差で逃げ切り、
前回に続きまたも初参加者の優勝
となりました。

◇優勝 土屋 積 三六一
◇準優勝 森本 康夫 三五九

第12回大会に参加のみなさん



◇第三位 野尻 昭男 三四〇
(注) 得点はHDCPを含む
2ゲーム合計
(吉岡)

順位	#32コンペ 7/14中国GC		#33コンペ 8/8東広島CC		#34コンペ 9/20賀茂CC	
	参加者	Par	参加者	Par	参加者	Par
1	徳永(幸)	9	車角	7	増本	6
2	相馬	9	松浦	4	山内	3
3	山本	5	森本	1	広瀬	2
4	山口	1	嵐	0	大和	2
5	出口	1	山本(W)	0	相馬	0
6	松浦	1	広瀬	+1	徳永(幸)	+1
7	小林	1	植木	+1	杉山	+3
8	嵐	0	片山	+3	片山	+3
9	片桐	+2	山口	+4	山本	+4
10	大和	+2	出口	+5	車角	+4
11	車角	+4	小林	+5	植木	+4
12	片山	+5	徳永(幸)	+5	山口	+7
13	佐々木	+5	山内	+6	小林	+7
14	西尾	+8	杉山	+7	出口	+9
15	相馬(W)	+9	相馬	+7	片桐	+9
16	植木	+10	山本	+8	井上	+10
17	増本	+13	西尾	+9	河上	+10
18			佐々木	+11	山本(W)	+11
19			片桐	+15	徳永(文)	+13
20			河上	+16	佐々木	+15
21					相馬(W)	+16
N	相馬・小林		松浦・嵐		山本・山口	

平成12年度第4戦～第6戦の成績



山内孝雄さん No.635
オフィシャルハンディ シングルに

六十三才にしてシングル入りの
快挙を達成。二桁から一桁への道
のりは体力・技術力・そして精神
力それぞれが、ゲーム毎に維持さ
れて、なお幸運の女神をお供にし
て達成される。コースの関係者
も、ここ数年聞いた例がない、と
いう。

おめでとう!



投稿

還暦から古稀へ

中尾 勇さん No.373

平成二年六月（一九九〇）、大勢の皆様より、無事定年を迎えたことによる祝福と、送別のお言葉をいただきました。「ホテルつるかめ」で開催していただいた部課長会による送別会での録音テープを、久しぶりに再生してみました。

還暦から古稀を迎えた十年間の出来事を回想し、時の経つ早さを今更ながら、痛感しています。

この十年での、集約した回想になります。妻に感謝



大勢の方々のご協力をいただき、無我夢中で働いてきた自分自身の努力を褒め、妻への感謝の気持ちと、同時に長年の夢でもあった北海道から沖縄ま

での、うまいもの食べ歩き旅行を行いました。

もちろん、名所・旧跡・温泉や観光地を訪ね、家庭を支えてくれた妻へのお礼でもあります。

社友会広島支部結成
定年後、即社友会に入会しましたが

本部の行事や会合には、簡単に参画できませんでした。時間・費用・距離いづれも遠隔地であることがネックになりました。

広島に支部を結成すべきだ、と機運の醸成を始めましたが、当時の会員数では、前途多難な状況でした。

平成四年十月、本部の秋季懇親会に同志と語らい遠路はるばる参加しました。

箱根湯本温泉（泊）、幕張新社屋見学のコースでしたが、目的は支部結成が時期早尚とする本部に、広島在住会員の心情や日々の活動状況を説明し支部結成への熱意を、力説することでした。

おかげで、事業本部のご厚意もあつて、平成五年七月十五日広島支部結成総会が開かれたのでした。

太田会長、吉江副会長にご出席いただき、事業本部からは佐治事業本部長と山口総務部長にもご出席をいただいた

て、支部の形態が整ったのでした。

同好会活動への参画

気心の知れた友人と、同じ目標同じ趣味で、ワープロ・ゴルフ・囲碁・海釣り・各種の学習会や懇親旅行に参加し、充実した日々でした。

平成六年二月には、「紅葉会」も結成され、社友会会員と合同でさらに充実した活動ができるようになりました。

誕生の地に転居

平成六年七月、四半世紀にも亘って暮らした八本松を離れて、生まれた大阪の高層マンションに引越しをいたしました。

住みなれて、大勢の友人知人があり楽しかった思い出が溢れる八本松は第二の故郷であります。

阪神淡路大震災

平成七年一月十七日早朝、突然上下左右に経験したことのない激しい揺れ。幸い、自宅は堅固な建物のおかげで被害はありませんでした。

死傷者、家屋の倒壊、火災、その後の避難生活など被災した方々へ、新聞社を通じて気持ちだけは援助しました。

さらに奈良に転居・孫達と合流

一年半ほど大阪で生活しました。昔の思い出の環境は既になくなっていました。

交通機関と買物物の便利さと、隣近所への気配り不要の環境の反面、騒音と排気ガス、アスファルト道路より反射する過熱された西日の厳しさには閉口しました。八本松の自然豊かな環境に慣れた私どもには適応できず、再転

居を選択せざるを得ませんでした。

平成七年十一月、今なお自然の環境が残り、緑豊かな景色が望める奈良県広陵町に転居しました。

二世帯三世帯が同居する新しい暮らしは、老夫婦二人だけの生活に孫達が加わり、いつも笑い声の聞こえる賑やかな生活に浸っています。

西国三十三ヶ寺巡拝満願

永年の懸案でありました、西国三十三ヶ寺札所巡りを平成八年四月、勝浦青岸寺を皮きりに、月に二ないし三ヶ寺を目標に札所詣でを行い平成九年五月、岐阜谷汲山華嚴寺で、無事満願を迎えました。

海外旅行

四十回目の結婚記念日を迎える、平成十年の年末にシンガポールへ、翌年の春にはハワイへと、海外旅行を実現しました。夫婦共に、元気で旅行できることを感謝しながら旅を堪能してきました。

ところで、海外旅行の途中で不思議なことに、機内やホテルのロビーで同じ釜の飯を食べた、友人と逢うことがあり国際企業で活躍する社員が、世界を飛び回る証しかな、と感心した次第です。

そして

これまで、妻が胆石障害で胆嚢の摘出手術をし、夫婦共に腰痛で通院などがありました。いまではまずまずの健康体を維持しています。

住まいする、広陵町老人会の一役員として、微力ながら社会活動に協力しています。

今後、さらに光り輝く老後を送りたいと思っています。

“通信”事始物語

番外編

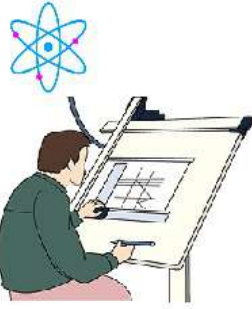
二つの緊急プロジェクトと波及効果

宮田 悦太郎さん

No.727

本社の商談室に至急来てもらいたい、という連絡を受けて駆けつけると、いつもより少しばかり厳しい顔つきのI社副社長のB氏、S社のI社長をはじめ顔なじみの面々の姿がありました。

用件は、先方が国内の某社に生産委託していたダイクティングマシンにトラブルが多発し、至急同等品が必要となり、シャープが引受けてくれないかとの、打診でした。



しかし、この種の製品は過去に種々問題があつて、事業部扱いのカテゴリーにもない難物商品でしたが、作るべき商品が減少しつつある落ち目の事業部の状況では、やるしかないとなっていた迷いも無く決心しました。

ところが、先方は私よりずっと長く事業部との付き合いがあり、過去の経緯は十分にご承知で、心配もあつてか具体的にどのような方針で開発するのか質問されました。

とつぎに、当社には緊プロという制度が

あり全社挙げて取組みますから安心してください、とその場は終わりました。

結果は上々で、生産数も当初予定の十倍にも達する成果となり、次期の新製品も是非ということになりました。

前記メンバーが、再度来社されたおりに、実はあのときには市場から撤退すべきか引責辞任かと窮地にあり、おかげで元の状態に戻り会長にも良くやったと褒められたそうです。

一方、その緊プロを申請した際には、内容に新規性がない、と一旦は否決されたものの、「事業部には開発費がない。人助けやと思って申請通してくれ。」と無茶を言つて開発費をいただいた経過を思いだし、思わぬ人助けという波及効果に笑つてしまいました。

次なる緊プロは、車載用電話の開発ですが、滑り出しは順調でしたが結果は惨たることになりました。

チーフの栗橋君が、「こんな高価なものが買ってもらえるなんて。夢のようです。」と感激した測定機も手許にとどき展望が開けるかに見えました。

試作品も次第に姿がまとまり始めた頃、特許やその他の純粋な技術上の問題で、商品化が怪しくなってきました。

ついに、総合技術会議に、緊プロ終了報告を余儀なくされ、会議に臨みました。多額の開発費を使い、一台の商品も生産しないまま終わった無残な結果に、叱責を覚悟



したものです。当時、技術面を統括されていた佐々木さんからは「もっと慎重に調査してやりなさい。開発費の無駄使いはだめですよ。」と諭され、内心ではほっとしました。帰広すると、栗橋君も終了報告の結果を心配して、訪ねてくれました。

緊プロのおかげで、理論も解るようにな

り技術も身につく、開発環境も完全に整つたので次のチャンスをもノにしようや、という以外にお互いに言葉も無く、やはり緊プロの失敗は大きなショックでした。しかし意気消沈の期間は短く、今風にいえばチョウラッキーな事態が到来しました。電波法改正によるコードレス電話機の解禁です。

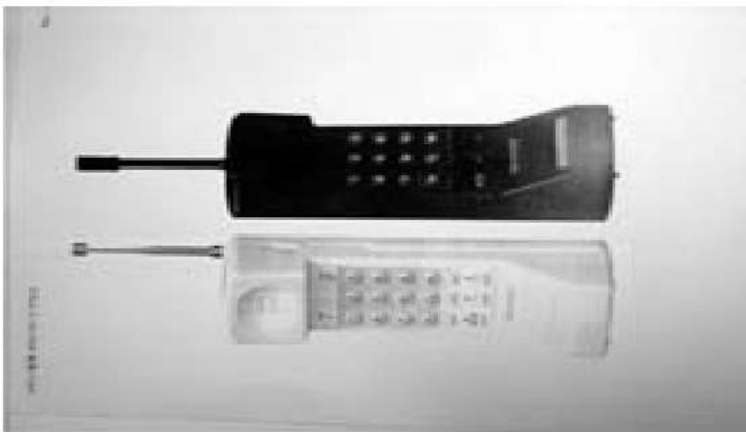
メーカー間で、一斉にその開発競争が始まったとき、緊プロで得たすべてをこれ以上ない最高のコンディションとタイミングで、投入できたことです。

結果は、皆さんのご存知のとおりになりました。しかし、今にして思えば、緊プロをやつていなかったら、当時の技術力では後発メーカーの位置にとどまっていたでしょう。ひよっとしたら、最後発だったかも知れず、仮に第一弾が成功しても力不足はいなめず、二兎を追うものはの諺どおりの結果になったでしょう。

当初目標とした商品の何十倍いや、何百倍の事業規模に成長した、新事業部を生み出す原動力となった、巨大な波及効果をもたらしたことで、あれは失敗してかえって良かったのかと思わせる複雑な感情を抱かせる緊プロではありました。

この項 終わり

微弱電波方式コードレス電話機 S30



社友短信

お孫さんを含む三世代同居の生活で、お孫さんとの会話がとてもトレンドイデーで面白いそうです。近頃の高校生の、話題や新語がとても新鮮に聞こえるとも、話していました。

◇橋本 千秋さん

あと1週間で、丁度五年になります、と元気に話していました。専業農家に転身したのかと思ったら自給の範囲だそうです。町のシルバースターから派遣されて、町役場の夜間と休日の当直を、3名で交代しながらやっています。公民館活動にも参加して会員20名の囲碁クラブの会長も、引受けたそうです。

◇藤井 次郎さん

今年の総会では、健康上の不安も理由にあつて、幹事を退任されましたが、今は瀬野川土手を4km歩くのを日課にしているそうです。

◇片山 朗さん

退職と同時に就任した、広島県電器商業組合専務理事の最近の仕事では、リサイクル法施行に伴うお店の対応を、県内二十の支部に徹底することだそうです。仕事のほかに何やっていますか、と聞いたら意外に明るく、やってるヨと返事がありました。YMCAの、混声合唱団に入りコーラスのレッスンを受けているそうです。毎週水曜日の夕刻に、二時間の「授業」があり、この日だけ帰宅時間がいつもより、遅くなるそうです。

編集後記

□ひびき第16号(秋号)をお届けします。今回ご紹介する新会員は、準会員を含め九名に達し、広島支部の増強傾向はなお続く見こみです。
 □「通信事始物語」番外編は、宮田悦太郎さんをお願いしました。ご一読をお願いします。
 □秋の親睦旅行の参加受付の、締切日が近づきました。未連絡の方はお急ぎ下さい。
 □次号は、十二月末発行予定で新年号になります。投稿をお待ちしております。

新会員紹介

住所・電話番号は個人情報により削除しています



今井 省吾さん
会員No.



土屋 積さん
会員No.1677



有場 正夫さん
会員No.1676



梶爪 信郎さん
会員No.1687



川田 正勝さん
会員No.1732



明石 充生さん
会員No.1733



山口 春香さん
会員No.J004



坂田 広海さん
会員No.J005



石井 宏哉さん
会員No.J006